

名事研ニュース No.158

名古屋市立小中特別支援学校事務研究協議会 <http://meijiken.sakura.ne.jp/>

5月23日（水）に鯉城ホールで講演会及び令和元年度定期総会が行われました。定期総会では平成30年度事業・決算報告、令和元年度事業計画、予算案等が承認されました。

つながり ひろげ 学び 育む 令和元年度 名事研事業について

令和元年度会長 早川 数幸

昨年度、働き方改革が大きな話題となり、文部科学省の行政説明でもこの話題が中心でした。平成31年1月の中教審答申では、学校及び教員が担う業務の明確化・適正化が示され、その中で学校徴収金、地域ボランティア、調査統計の回答等、学校事務職員と関係の深い業務についても取り上げられていました。統合型校務支援システムの導入、給食費等の公会計化、コミュニティスクールの導入の推進についても触れられており、名古屋市も「第3期名古屋市教育振興基本計画」を策定し、変革の必要とともに変化をチャンスとし、さまざまな施策に取り組むとしており、このような変化の流れは今後も続くものと思われまます。こうした状況を予想するために情報を収集分析し、その対策を研究し、変化に対応するために常に学び続け、職として成長していくために、研究会の役割はますます重要になってくると思います。教員の働き方改革の根本は、「日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性を高め、よりより教育活動を行う」というもので、それは学校事務職員も同様です。だからこそ人や組織のつながりを大事にし、それをどう生かすかを、真剣に考える必要があります。今年度はこのような考えのもと、名事研のテーマも新しく「つながり ひろげ 学び 育む～新時代のあるべき学校像を目指して～」と設定しました。



名事研は、新しいテーマをもとに、めざす学校事務像・学校事務職員像の実現に向けて、「連携」「育成」「制度提案」「改善」の4つを重要なキーワードとして、他都市の研究会や市教委、校長会などの関係機関と協力しながら、新しい時代の学校像と学校事務職員の役割について研究し、子どもたちのより良い学びに向けて、事業を進めていきます。

講演会「学校事務職員に期待すること」

教職員課長 橋本 新 氏

講演会では、名古屋市教育委員会 教職員課長 橋本 新氏を講師に招き、「学校事務職員に期待すること」をテーマにお話がありました。始めに、ICT、グローバル化、少子高齢化等の社会の変容によって、学びの在り方にも大きな変化が求められているが、そうした変化を前向きにとらえ、強みに変えていくことが必要であると話されました。

また、「第3期名古屋市教育振興基本計画」の中の4つの基本的な方向性に触れ、その中でも特に学校事務職員に関わりの深い分野、教育環境整備について話がありました。昨今社会的にも大きな課題である働き方改革を着実に実行し、教員が子どもと向き合う時間を確保するためにも、学校事務の適正化、効率化を推進していくことが不可欠であるとのことでした。その中で、学校間連携体制の強化、加配校における取組、標準職務6項目の定着について話があり、学校事務職員だけでなく管理職が当事者意識をもって学校間連携や標準職務6項目について関わっていくことも重要であるということでした。



まとめとして、学校事務職員は教育現場にとって不可欠な存在であり、総務財務面に通じる唯一の専門職として、積極的に学校運営に参画してほしい、名古屋の子どもたちの豊かな育ちのために学校事務職員の方々の力を貸してほしい、との言葉をいただきました。

専門部紹介

事務局

事務局長 貝沼 大輔

今年度は新元号も始まり、新財務システムの稼働もあり、様々な状況の変化に追われる1年になるかと思えます。そうした状況の中でも皆様1人1人が少しでも名事研に入って良かったとっていただければ、よりよい活動について検討し、そして会員、区事務研、名事研の繋がりを大事に、事務局一同がんばって取り組んでいきたいと考えています。

また来年度は名事研発足60周年にあたります。今後名事研はどのように活動していくべきかを考える大きな節目になるかと思えますので、会員の皆様の忌憚のない意見をお聞かせいただけたらと思えます。ご協力よろしくお願いたします。

研究部

研究部長 小島 啓治

研究部では、近年、最も注目されているワードのひとつ、学校教育法第37条第14項「事務をつかさどる」を中心に研究を進めてきました。学校事務や学校そのものを取り巻く状況は刻々と変化している中、私たち学校事務職員が、その変化に惑わされずに、これからの社会において、どうあるべきか、どのように働いていくのかを研究しています。

今年度は、私たち学校事務職員にとって、最も身近に感じ、力を発揮しやすい分野「学校財務」にフォーカスし、「事務をつかさどる」ことを念頭に置きながら、教育活動に大きな影響を与える学校財務とはどのようなことか、会員の皆様と共に考えていきたいと思えます。

研修部

研修部長 森 哲平

研修部では、全体研修会や事務-Gymの企画・運営を通じて、私たち研修部員自身を含め、学校事務職員の資質向上の手助けをすることを目標に活動しています。

一口に研修といっても、OJT (On the Job Training/職場内研修)・Off-JT (Off the Job Training/職場外研修)・SD (Self Development/自己啓発)に分けられます。

なかでも、研修部が企画する研修会はOff-JTに該当するものが多く、その時々に応じた適切なテーマを設定し、会員の皆様にとって有意義な時間となるよう、内容を検討しています。

今現在、そしてこれからの名古屋の学校にとって必要な研修とは何か、そしてそれをどのように実現していくのかを考えていきたいと思えます。

情報部

情報部長 竹田 英祐

情報部では、この名事研ニュースや「じむけん!」の発行、HP更新等を行っています。「名事研はどんな活動をしているの?」といった疑問に、わかりやすく答えていきたいと思えます。

また、昨年度は先進的な他都市の視察から得られた知見をベースに、名古屋の学校徴収金事務について考察しました。そして、学校事務職員・教員・保護者・業者すべてにメリットがあると考えられる「名古屋市学校徴収金管理システム導入及び仕様の提案」を作成して市大会で発表しました。

さらに、会員に対して情報調査を行い、各学校での事務の実情を客観的なデータとしてまとめたりしています。

名古屋の学校事務職員が、よりよい仕事を行っていくため、ご協力のほどよろしくお願いたします。